

温かい心は勇氣から

湯沢町立立湯沢中学校

三年 剣持 一花

「Hello! Nice to meet you.」

そう言っ て私は手を差し伸べて握手をし
ました。自然豊かなソルトレイクシテイ。明
い日差しとホストファミリーのあたたかな笑
顔が私を迎えてくれました。

これは去年の夏、マグナに留学したとき
記憶です。私はマグナ交換留学生として現
地でホームステイを経験したり、イタリア
の留学生を半年間ホストファミリーとして受
入を経験したりしました。このような国際交
流を通してたくさんの方のことを学ぶことが
できました。

まず、マグナという地域は、アメリカのユ
タ州のソルトレイクシテイにあり、飛行機
は十時間かけて訪れることができます。そこ
では約十日間ホストファミリーのもと、現地

での生活を経験しました。慣れない環境で、不安もありましたが、私が勇気を振り絞って片言の英語で話しかけたとき、ホストファミリーは快く受け止めてくれました。私は二年ほどしか英語を勉強していなかったのですが、翻訳なしでスムーズに会話することはできません。一人ででしたが、一生懸命に英語を話すことで彼らと会話することができました。今でも、私を受け入れてくれたホストファミリーに感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を通じて私はコミュニケーションや意思表示の大切さを学びました。

「Let's go to church together.」

誘われて一緒に教会に行ったとき、ホストファミリーは集まった人たちにフレンドリーに話しかけていて、打ち解けた楽しい雰囲気でした。日常生活では、食事のとき、好みを正直に言っていました。意思表示を大切にするアメリカの文化と、日本の気遣いや遠慮の文化の違いを感じました。

町全体がおもてなしの心で相手を理解し、相
観光客が多く、町中やお店でよく見かけます
ことができました。また、湯沢町は外国人の
り、私は交換留学生として新しい学びを得る
があります。湯沢町はマグナと姉妹都市であ
今、さまざまな場面で国際交流のチャンス
だと感じました。
を学ぶということは相手を理解することなの
話すことがほとんど楽しくなりました。言葉
いの思いや親切が伝わるようになり、英語で
えてくれました。一緒に生活する中で、お互
英語の間違ってるところや発音を正しく教
をするようにしました。彼女は、私の話した
と感 じるようになり、できるだけ英語で会話
しかし、徐々に自分の英語力を向上させたい
るときに英語で話す必要はありませんでした
本語がかなり話せたので、私たちが会話をす
コミュ ニケー ションをとりました。彼女は日
れていたときも、マグナでの経験を生かして
イタリ アから来た留学生を約半年間受け入

。

。

手を思っの行動が湯沢を訪れる人たちの心
に届くのだと思います。地元に住んでいる人
と国際交流が盛んになることで町の魅力が広
まり、観光業や地域活性化に繋がります。私
はマグナに行つて、自分の思っている以上に
世界は広いということを実際に知りました。
私は言語や文化の違いをこえて交流できる
ように積極的に学んでいきたいです。貴重な
経験は将来必ず生かされ、私たちの住んでい
る湯沢町に大きく貢献できると思います。
「Nice to meet you.」「お会いできて嬉しいです。」
という温かい気持ちで、私はこれからさま
ざまな国の人たちと交流していきます。そし
て、これから勇気をもつて挑戦して、自分
の視野を広げていきます。マグナを訪れたあ
の夏の日の初心に帰つて。